

よ まえ
★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.





2

わたしは、とても大きおおかったです。



1

わたしは赤あかいりんごです。
日本にほんの北きたの、
山田やまださんの畑はたけで生うまれました。

やまだ
山田さんは、畑のはたけ
ぜんぶ
全部とりました。

まち
そして、町で売りました。

でも、わたしをとりにませんでした。

かな
わたしは悲しいです。



3

こどり
ときどき小鳥が来ます。

はな
わたしと話します。

こどり
小鳥はわたしの友だちです。



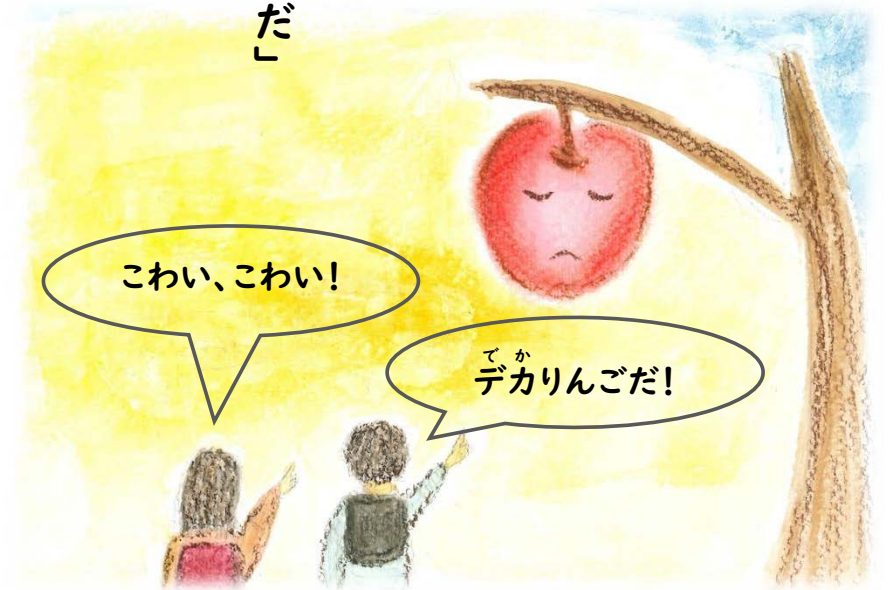
4

子どもたちは言います。

「大きいりんごだなあ」

「デカいりんごだなあ」

「デカい！ デカい！ デカりんごだ」



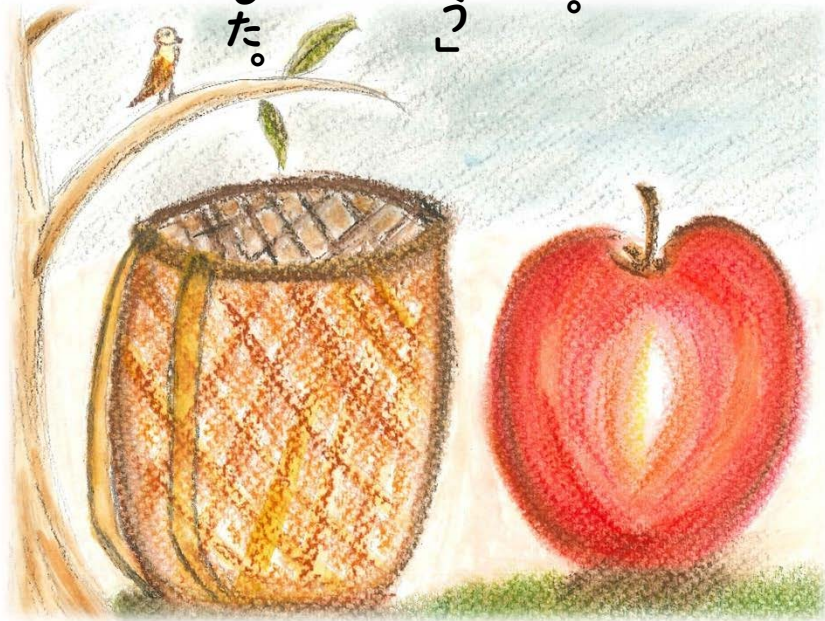
5

ある日、山田さんは言いました。

「このデカりんごも売りましょう」

山田さんは、

大きいかごにわたしを入れました。



6

わたしは山田さんと町へ行きました。
町の人は、

わたしたちをジロジロ見ました。

「デカいりんごだなあ」

町の人たちは笑いました。

だれもわたしをきません。



7

山田さんは言いました。

「疲れたなあ。重いなあ」



8

もう夕方です。
ゆうがた

山田さんは、
やまだ

わたしをかごから出しました。
だ

そして、川に捨てました。
かわ す

山田さんは家に帰りました。
やまだ いえ かえ



わたしは、何日も何日も
なんにち なんにち
川の中にいました。
かわ なか

とても疲れました。
つか



海^{うみ}に^き来^きま^した。

わ^たし^は遠^とく^を見^みま^した。

木^きが^たく^さん^あり^ます。

そ^れは^この^ちい^さな^しま^でし^た。



島^{しま}の^こども^たち^が来^きま^した。

「こ^のれ[、]何^に？」

「赤^あい^ね」

「ど^っつ^ても^おお^きい^ね」

「食^たべ^たい^ね」



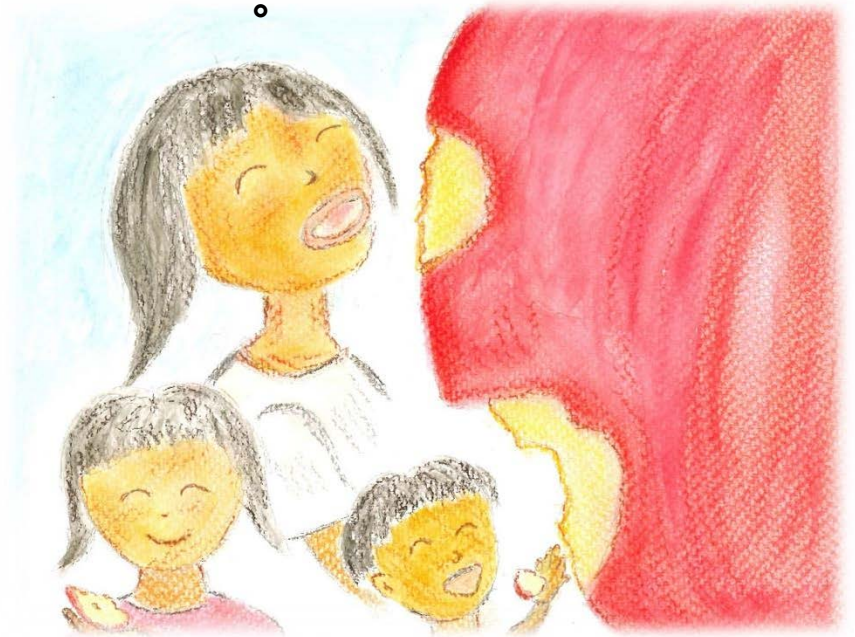
子どもたちは、ムシヤムシヤと

わたしを食べました。

「おいしいね」

子どもたちは、うれしいです。

わたしも、とてもうれしいです。



今、わたしはとても幸せです。





NPO多言語多読

tadoku.org



でか デカリんご

発行日 : 2021 年 10 月 10 日

なかのまゆこ

作 : 中野真由子

とくながゆか まつだみどり

協力 : 徳永由佳 松田 緑

監修 : NPO 多言語多読

この本は、NPO 多言語多読会員が読みもの作成ワークショップで作りました。



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>